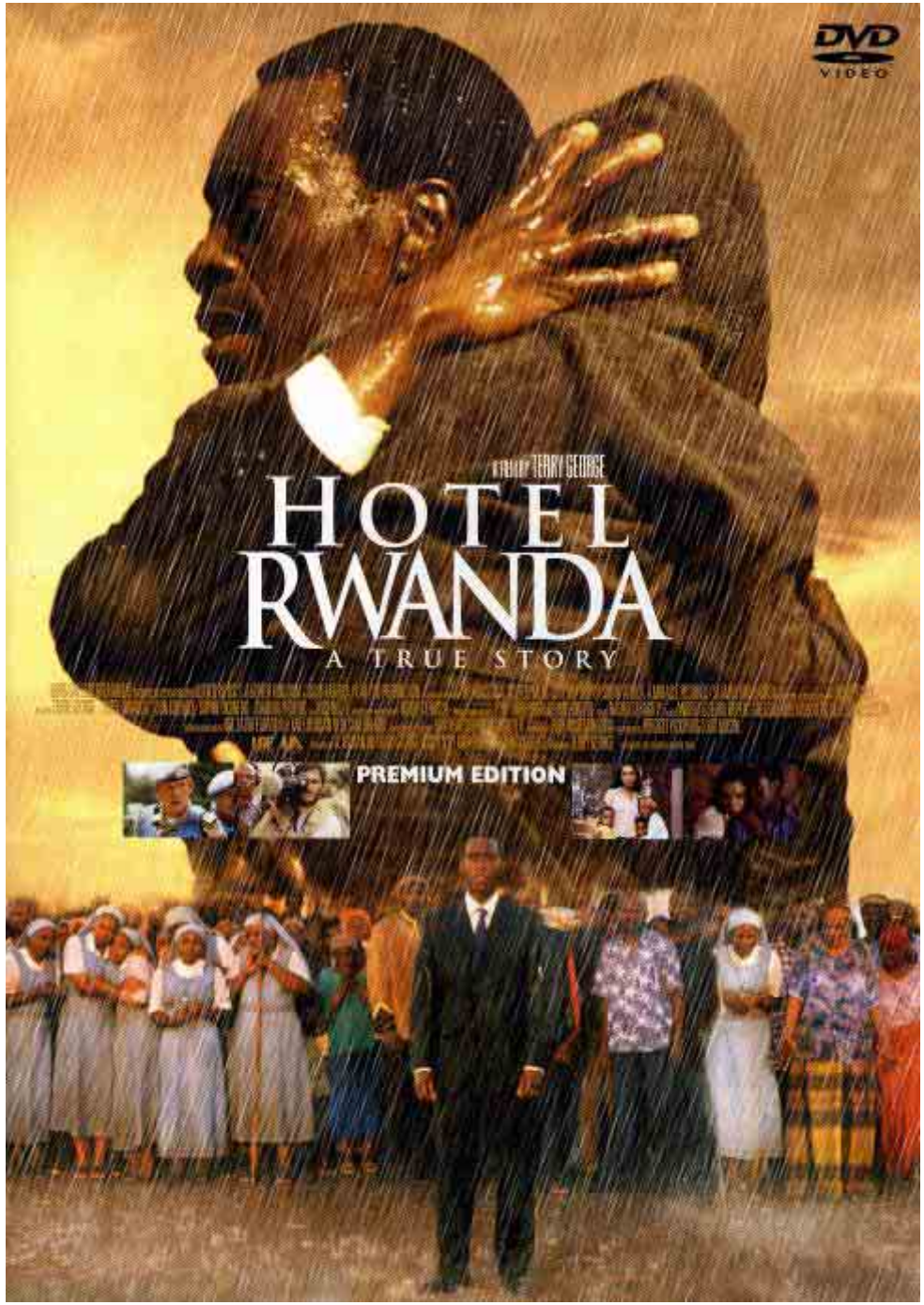

DVD
VIDEO
A FILM BY TERRY GEORGE
HOTEL
RWANDA
A TRUE STORY
PREMIUM EDITION

1994

本日の目標

ある書物を手がかりに
映画を超えてゆきたい

観客が受け入れやすい
ストーリーに変形

ポールというヒーロー

思索的というよりは感情的

本日の目標

ある書物を手がかりに
映画を超えてゆきたい

長いタイトルを持った書物です・・・

We wish to inform you that tomorrow we will be killed with our families

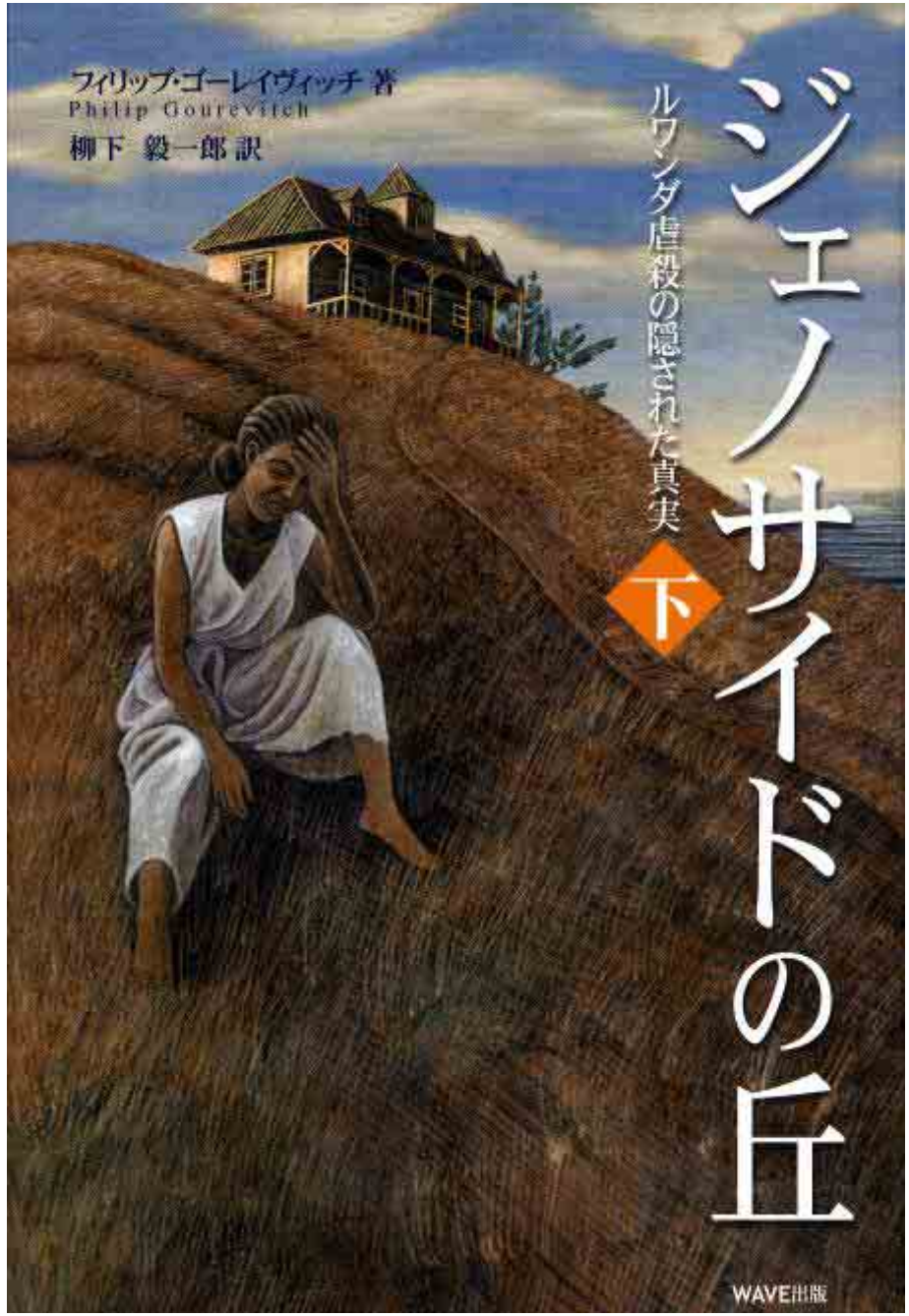
ジェノサイドの丘

ルワンダ虐殺の隠された真実

上

フィリップ・ゴーレイヴィッチ 著
Philip Gourevitch
柳下 毅一郎 訳

WAVE出版



We wish to inform you that tomorrow we will be killed with our families

STORIES FROM RWANDA

by Philip Gourevitch 1998

本書冒頭に掲げられた言葉

さあお前たち、呪われた奴らめ、この美しい観物を堪能するまで味わうがよい！

――プラトン『国家』

Tragedy

―悲劇―

Mediterranean Sea
MOROCCO
TUNISIA
ALGERIA
LIBYA
EGYPT
WESTERN SAHARA
MAURITANIA
MALI
NIGER
CHAD
SUDAN
ERITREA
Red Sea
SENEGAL
GAMBIA
BURKINA FASO
GUINEA
GUINEA BISSAU
IVORY COAST
GHANA
TOGO
BENIN
NIGERIA
CAMEROON
CENTRAL AFRICAN REPUBLIC
DJIBOUTI
ETHIOPIA
SIERRA LEONE
LIBERIA
EQUATORIAL GUINEA
SAO TOMÉ & PRINCIPE
GABON
CONGO
RWANDA
UGANDA
KENYA
SOMALIA
Lake Victoria
DEMOCRATIC REPUBLIC OF THE CONGO
BURUNDI
CABINDA (ANGOLA)
Atlantic Ocean
Indian Ocean
TANZANIA
ANGOLA
ZAMBIA
MALAWI
ZIMBABWE
MOZAMBIQUE
NAMIBIA
BOTSWANA
SOUTH AFRICA (Walvis Bay)
MADAGASCAR
SWAZILAND
LESOTHO
SOUTH AFRICA
0
1000 miles
0
1000 kilometers

DEMOCRATIC
REPUBLIC OF THE
CONGO
(FORMERLY ZAIRE)
Ruhengeri
Goma
Gisenyi
Lake Kivu
Kinunu
Kibuye
Mugonero
Cyangugu
Bukavu
Byumba
Nyabarongo River
RWANDA
Taba
Kigali
Gitarama
Gikongoro
Butare
Kibeho
Akagera River
Akagera River
KAGERA
NATIONAL
PARK
TANZANIA
Kibungo
Nyarubuye
BURUNDI
Bujumbura
0 25 50 75 miles
0 25 50 75 kilometers
©1998 Jeffrey L. Ward

1994年初夏

750万 人の人口のうち

80万 人が

100日 間で殺された

このできごとの異常性を象徴する2つのキーワード

decimation　　一割 間引き

マチェーテ　　山刀

銃のような間接手段によらない

そんな苛烈な殺人を実行することに
人の精神は耐えうるものなのか？

病院の雑役夫サミュエルとマナセの経験

安全と信じて教会に集まったツチ族を襲うフツ族

下記のメッセージが発信されたのは、このとき。

We wish to inform you that tomorrow we will be killed with our families

何ヶ月も、国連兵士は銃の撃ち方を知っているんだろうかとルワンダ人たちは疑問に思っていた。・・・結局のところPKO兵士の射撃の腕前は抜群だった。

そして　犬のいない国へ

History

―歴史―

1900年頃、ドイツ人が撮影したルワンダ人たち

ツチの主人が乗った輿をフツの従者が運んだ

藤原章生『絵はがきにされた少年』集英社より

1897年　ドイツ総督部による間接統治

第一次大戦の戦利品としてベルギーが獲得

ベルギー人たちのしたこと

すでに存在していた文明から
自分たちが考える支配と従属
という概念にあう特徴を抜き
出し、それを自分たちの都合
にあうようにたわめたのだ。

フツ族　ツチ族

ベルギー人たちのしたこと

ツチ族

フツ族

すでに存在していた文明から
自分たちが考える支配と従属
という概念にあう特徴を抜き
出し、それを自分たちの都合
にあうようにたわめたのだ。

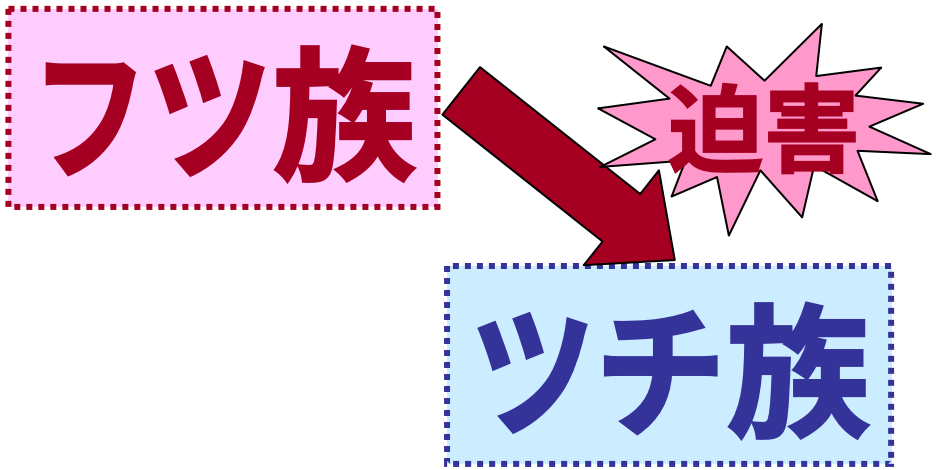
独立の時代に起きたこと

1962　ルワンダ、ベルギーより独立

フツ族　**ツチ族**

ツチ族が外国からの侵略者であるなら、ルワンダは本来的に多数派フツ族のものであるはずだ。ルワンダにおける民主主義的思考とはかくのごときものであった。

独立の時代に起きたこと



多くのツチ族がルワンダを逃れ
RPF（ルワンダ愛国戦線）を結成

Rwandan Patriotic Front

ツチ族が外国からの侵略者であるなら、ルワンダは本来的に多数派フツ族のものであるはずだ。ルワンダにおける民主主義的思考とはかくのごときものであった。

decimation

We wish to inform you that tomorrow we will be killed with our families

人が多すぎる！
全員の食べ物はない

環境

教育を受けていない農民

隣国という逃げ場が近い
非妥協的？

ツチ族を優遇した
ベルギーの支配

歴史

民主化の時代に
フツ族の逆襲

フツ族大統領撃墜

偶然

フツ急進派が軍事政権

紅茶と珈琲に依存する
経済が崩壊

ラジオ放送が敵愾心をあおる

ＲＰＦの侵攻

それだけの材料を混ぜ合わせれば立派なジェノサイドのレシピとなり、それがいつ起きてもおかしくなかったと言える。だが一割間引き（デシメーション）はまったく起こる必要などないものだった。

結局、わからない！

答えを求めつつ現実へと分け入っていって、
でも結局、見つからない

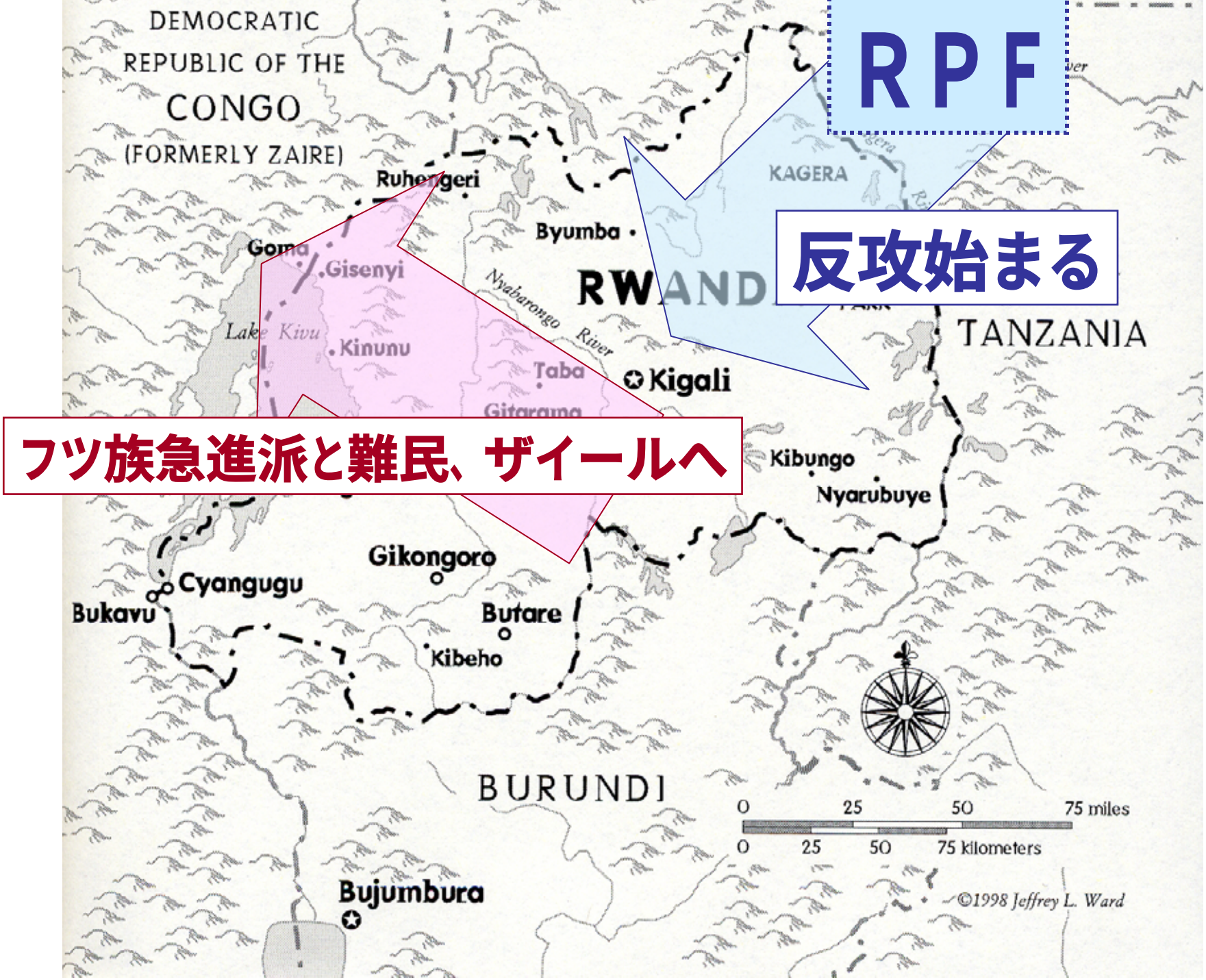
その「もどかしさ」に耐える

ひとつの悪にすべての責任を押しつけて安心するのではなく・・

ルワンダにはヒトラーもポル・ポトも
スターリンもいないのだ。

After

－今－


RPF
反攻始まる
フツ族急進派と難民、ザイールへ
DEMOCRATIC
REPUBLIC OF THE
CONGO
(FORMERLY ZAIRE)
Ruhengeri
Byumba
KAGERA
Goma
Gisenyi
RWANDA
Nyabarongo River
Lake Kivu
Kinunu
Taba
Kigali
TANZANIA
Kibungo
Nyarubuye
Gikongoro
Cyangugu
Bukavu
Butare
Kibeho
BURUNDI
0 25 50 75 miles
0 25 50 75 kilometers
Bujumbura
©1998 Jeffrey L. Ward

難民キャンプの憂鬱

ゴマの難民キャンプにて

藤原章生『絵はがきにされた少年』集英社より

難民キャンプはフツ至上主義国家の完璧なレプリカとして組織されていった

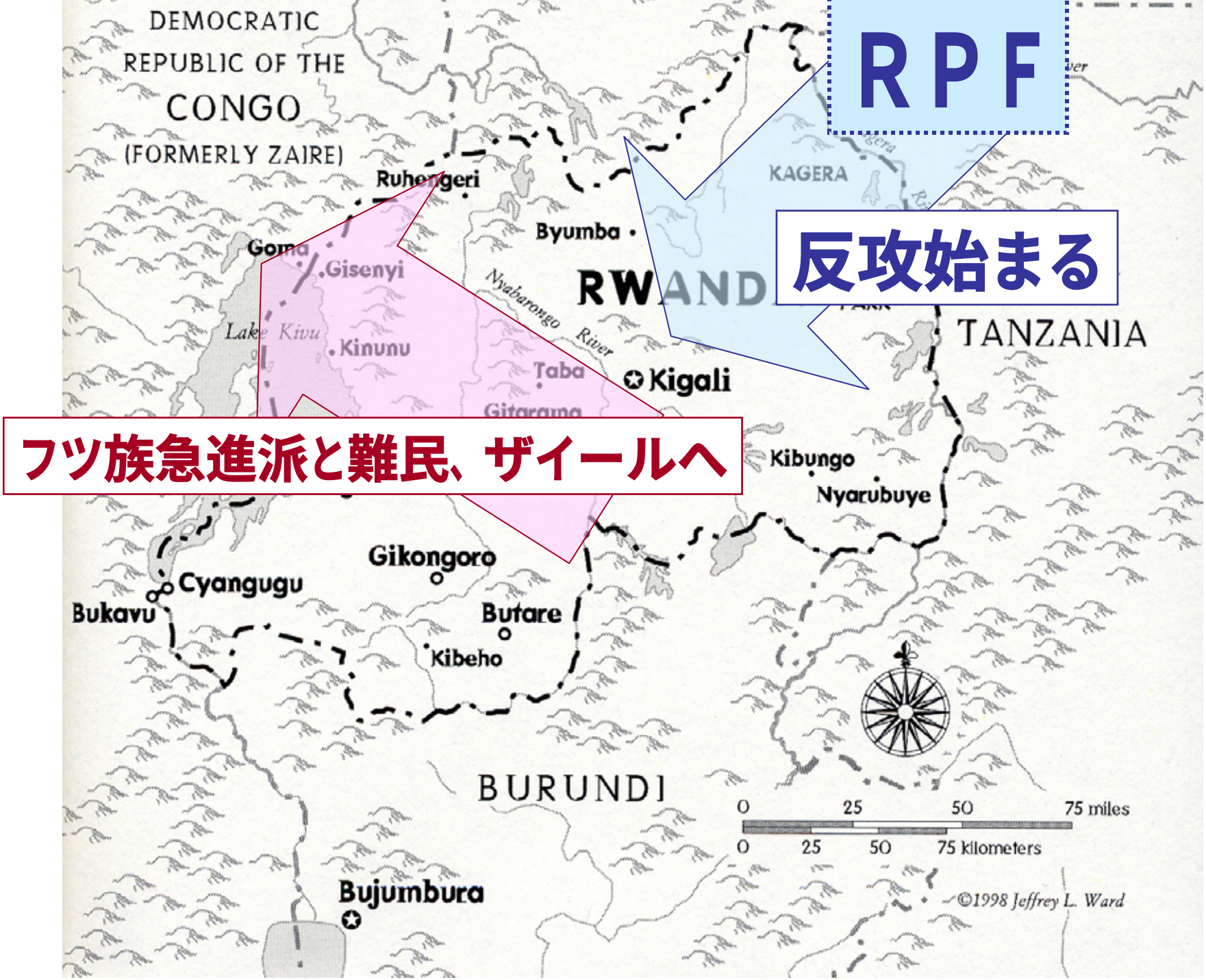
人道援助団体は・・ただ与えるための存在だった——食料を、医薬品を、家庭用品を、世間体を。

難民キャンプの憂鬱

難民キャンプは至上主義国家の完璧なレプリカとして組織されていった

人道援助体は・・ただ与えるための存在だった――食料を、医薬品を、[illegible]用品を、世間体を。

「我々はちゃんとした援助をおこなっている」


RPF
反攻始まる
フツ族急進派と難民、ザイールへ
DEMOCRATIC
REPUBLIC OF THE
CONGO
(FORMERLY ZAIRE)
Ruhengeri
Byumba
KAGERA
Goma
Gisenyi
RWANDA
Nyabarongo River
Lake Kivu
Kinunu
Taba
Kigali
TANZANIA
Kibungo
Nyarubuye
Gikongoro
Cyangugu
Bukavu
Butare
Kibeho
BURUNDI
0 25 50 75 miles
0 25 50 75 kilometers
Bujumbura
©1998 Jeffrey L. Ward

そしてフツ族が故郷へ帰る
RPF
迎えるツチ族
DEMOCRATIC
(FORMERLY ZAIRE)
Ruhengeri
Goma
Gisenyi
Lake Kivu
Kinunu
Kibuye
Byumba
Nyabarongo River
Taba
Gitarama
Kigali
KAGERA
Akagera River
TANZANIA
Mugonero
Gikongoro
Cyangugu
Bukavu
Butare
Kibeho
BURUNDI
Bujumbura
0 25 50 75 miles
0 25 50 75 kilometers
©1998 Jeffrey L. Ward

ルワンダに入ると、道沿いに数千人が何時間も突っ立って、流れ込む人々を同じく言葉も漏らさずにじっと見つめていた。

近代史上いまだかつて、他の人々を虐殺した人々が・・虐殺された人々の生き残りと、同じ小さなコミュニティの中でひとつの国家社会として完全に混ざりあった形で生きていくように強いられたことはなかった。

オデット：虐殺から生き延びたツチ族の女性医師

アメリカの人は本当にこの話を読みたいんですか？　みんなが起きたことを書き残しておくべきだって言います。でも、それはもうわたしの中には書かれているんです。わたしは忘れられる日が来るのを待っているくらいです。

課題

書き残しておくべきなのか、それとも忘れたほうがよいのか。
オデットの重い問いかけに、今日識ったことを踏まえて
答えてください。